愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	佐々木 裕美	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

授業の目的は、主に次の２つである。 １）グアム島の環境課題を自分の課題としてとらえることができる。 ２）身の回りの課題を発見し、その解決に取り組み、その過程と成果について発表できる。 上記の目的達成のためには、Website上の英文資料を読めることが必須となる。読む、書く、聞く、話す能力の向上を目指すとともに、グアム島の環境に関わるSDGsに焦点をあて、他所で起こっている問題を自分事として理解できる能力を養う。SDGsの活動を行っている外部講師を予定している。また、ゼミ活動の一環として、皆でグアム島でのゼミ研修を計画する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	グアム島における様々な環境問題から各自がテーマを決めてそれに取り組む。現地の資料は、主にWebsite上の英文資料となるため、英語能力の向上を目指して、TOEICの勉強も並行して行う。また２回程度のメディア授業を実施する予定である。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション グアム島研修旅行について話し合い	この授業の進め方と約束事の確認 前期の振り返りと後期の目標設定 授業ノートの取り方、プレゼンテーション資料の作り方、プレゼンテーションの方法について説明	□
第2回	グアム島のSDGsへの取り組みを自分事として掘り下げる Unit 5: 行政・地域の英文	個人またはグループ活動、各自ノートを書く 英文：081~90	□
第3回	グアム島のSDGsへの取り組みを自分事として掘り下げる Unit 5: 行政・地域の英文	個人またはグループ活動、各自ノートを書く 英文：091~100	□
第4回	グアム島のSDGsへの取り組みについて紙一枚にまとめる Unit 6: 教育・芸術の英文	個人またはグループ活動、紙一枚にまとめる 英文：101~110	□
第5回	グアム島のSDGsへの取り組みについてプレゼン資料を作成する Unit 6: 教育・芸術の英文	個人またはグループ活動、プレゼン資料を作成する 英文：111~120	□
第6回	グアム島のSDGsへの取り組みについてプレゼンする Unit 7: 広報・人物評価の英文	個人またはグループでプレゼンテーションを行う 英文：121~130	□
第7回	グアム島研修のテーマを決める Unit 7: 広報・人物評価の英文	個人またはグループ活動、各自ノートを書く 英文：131~140	□
第8回	グアム島研修のテーマについて調べる Unit 8: 業務の英文	個人またはグループ活動、各自ノートを書く 英文：141~150	□
第9回	グアム島研修のテーマについて予備知識をまとめる Unit 8: 業務の英文	個人またはグループ活動、紙一枚にまとめる 英文：151~160	□
第10回	グアム島研修のテーマについて予備知識と予想される結果を発表する Unit 9: 人事の英文	個人またはグループでプレゼンテーションを行う 英文：161~170	□
第11回	外部講師：グアム島研修旅行（またはVirtual研修） Unit 9: 人事の英文	現地で各自のテーマに沿ったSDGsの活動を行う。 ユナイテッド航空の案内でハンガーツアーまたはグアム国際空港の職場見学（Virtual研修の場合はOnline） 英文：171~180	□

第12回	グアム島研修旅行（またはVirtual研修） Unit 10: 経営の英文	現地で各自のテーマに沿ったSDGsの活動を行う。 ユナイテッド航空の案内でハンガーツアーまたはグアム国際空港の職場見学（Virtual研修の場合はOnline） 英文：181~190	□
第13回	グアム島研修旅行（またはVirtual研修）の振り返りを紙一枚にまとめる Unit 10: 経営の英文	個人またはグループでノートを書いて紙一枚にまとめる。 プレゼンテーション資料を作成する 英文：191~200	□
第14回	ゼミ交流会	各ゼミの発表をシェアする	□
第15回	後期のまとめ、グアム島でのSDGsへの取り組みについてプレゼンテーション	個人またはグループでプレゼンテーションを行う。 三年次の振り返りをして、四年次に向けて計画を立てる	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

英文リスニングとリーディングを習慣化する（毎日10分程度） SDGsへの取り組みについて、各自が自由に題材を選んで自分のプレゼンテーションを作成すること（30分）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回のノート作成とプレゼンテーション作成については、その都度丁寧に説明し、フィードバックを行う。 英文リスニングとリーディングを通してビジネス英単語を身につける。分からない英文は、授業内で説明する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	SDGsへの取り組みを学ぶことを通して、自らの社会貢献性について、専門知識や技能を深める領域を探求し、主体性を持って地域社会の活性化や発展に貢献できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業への積極的な参加、授業ノート、プレゼンテーション資料作成、プレゼンテーション、レポートを同等に評価する

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	【音声DL付】TOEIC®L&Rテスト やたらと出る英単語クイックマスター+（テッド寺倉・上原ちとせ著、アルク）	978-4757433168
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		